

## 成長・発展ワーキング・グループの今後の進め方（案）

### 1. 主要論点と進め方

今後 50 年の日本経済に繁栄と安定をもたらすための「新たな成長・発展メカニズム」とはどのようなものであり、その実現のために必要な取組は何か。主査サマリーで挙げた重点課題等について、議論を深める。また、新たなメカニズムが、日本経済の将来の姿にどのような影響を及ぼすのか。シミュレーションを活用しつつ検証する。

#### ① 成長・発展を通じて国民生活の水準を向上していくための課題 （検討の方向性）

- ・イノベーションによって経済成長を実現していくためには、オープンで柔軟な制度を構築することにより、「多様性」を尊重し、「つながり」を確保していくことが重要である。このため、主査サマリーに明記された 7 つの重点課題※について、目指すべき姿や方向性、政策的課題、民間における実践について議論を深める。

※「日本ブランド」の確立・発信、知識資本投資の拡大と IT 投資との相乗効果の発揮、大学発の知的財産の有効活用、人的資源の一層の蓄積、潜在需要の確実な取込み、グローバル・バリュー・チェーンの取込み（地域経済の競争力を高める方策を含む）、金融機能の強化

#### ② 成長・発展を通じて目指すべき経済と国民生活の検証 （目的）

- ・経済成長・人口減に関して特段の政策対応を図らなかった場合の今後 50 年の経済・財政等の姿とともに、必要な政策対応を図ることにより 50 年後に人口 1 億人を維持する場合の今後 50 年の経済・財政等の姿を示す。その際、国民生活の水準がどうなっているかといった点も示す。

#### （推計指標例）

##### イ）経済・財政等のマクロ的な姿はどうなっているか

- 潜在成長率
- 部門別 IS バランス、経常収支
- 財政収支、債務残高
- 社会保障負担・給付

- 国民負担率
- ロ) 国民生活の水準がどうなっているか
  - 一人当たり実質GDP、一人当たり名目GNI
  - 一人当たり実質消費

(進め方)

- ・事務局において計量モデルを構築し、委員のご協力を得ながら、一定の仮定の下で人口、成長に関する複数のシナリオについて推計を行う。
- ・将来推計の結果を成長・発展WGに報告し、それを踏まえてご議論いただく。また、将来推計及びそれを踏まえたWGにおける議論を委員会に報告。

(アウトプットのイメージ)

- ・将来推計の最終的な成果物は委員会名でとりまとめ。
- ・ある時点（例えば2040年）以降について、10年刻みの年代ごとの平均的な姿を示す。

## 2. スケジュール

### ○第4回成長・発展WG

- ・今後の議論の進め方について議論
- ・委員よりプレゼンテーション（7つの重点課題関連）

### ○第5回成長・発展WG

- ・委員及び有識者よりプレゼンテーション（7つの重点課題関連）

### ○第6回成長・発展WG

- ・将来推計の報告、それを踏まえた議論

### ○第9回「選択する未来」委員会

- ・将来推計及びそれを踏まえたWGにおける議論を委員会に報告

### ○第10回「選択する未来」委員会・第7回成長・発展WG合同会議

- ・WGにおける議論を委員会に報告